

# 第14回福井県嶺南地域流域検討会の審議内容のご紹介

## ①早瀬川水系の河川整備について

早瀬川水系の河川整備について、河川管理者から説明が行われました。

- 第13回流域検討会における主な発言に対する回答
- 今後の検討会における検討方針、及び内容

### ◎委員からの主な意見

#### ◇放水路案における湖内巻上げの予測モデルについて

1. 濁りの拡散条件の設定には、鱒川からの実測のデータが必要なのではないか。

⇒【事務局】 現在は既存の文献と過去の調査結果より拡散条件を設定しています。今後、可能な限り出水時の現地調査のデータ等を反映し、条件を設定します。

2. 巻上げ予測に用いているモデルは、再現性の検証を行っているものの、水月湖のような密度成層\*がはっきりしている水域の場合、鉛直混合により上下攪乱が起こりやすい計算になっている可能性があるため、そのことを認識しておいた方がよい。

※水月湖の密度成層・・・水月湖の低層には若狭湾から逆流した海水が滞留しており、表層に鱒川からの淡水が流れ込むことにより、海水と淡水の層に分かれていることをいいます。

3. 巻上げ予測モデルの妥当性を裏付けるために、鉛直拡散係数を増減させて感度解析を試みてはどうか。

⇒【事務局】 再現検証を行う上で検討を行っており、必要に応じて提示します。

4. 浅水域について、出水時の水の流れの影響により底泥の巻上げも考えられるが、それはモデルに反映されているのか。

⇒【事務局】 現在のモデルでは、底泥の巻上げを考慮していません。モデル化の可能なものは考慮します。

#### ◇今後の検討方針について

5. 流れの因子として風を考慮する際に、巻上げを誘発するケースの風向設定根拠について説明いただきたい。

⇒【事務局】 巻上げを誘発するケースとして、トンネル放水路から湖心に向かう風向を設定しています。風により表層水が湖心に流れることにより、下層から表層への巻上げが発生すると考えています。

6. 湖内の濁りの解析結果について、平面的な分布が分かる図を示してほしい。

⇒【事務局】 すでに、湖内の濁りの拡散については計算に着手しており、平面的な分布についても検討しておりますので、次回以降に提示します。

## ② 笙の川水系の河川整備について

笙の川水系の河川整備について、河川管理者より説明が行われました。

- 第13回流域検討会における主な発言に対する回答
- 笙の川水系河川整備計画（案）の利水、環境について

### ◎ 委員からの主な意見

#### ◇ 防災関係について

1. 県には、土砂災害に関する避難勧告や避難指示の基準はあるのか。  
⇒【事務局】 土砂災害に関する警戒基準があり、ホームページでも「河川・砂防総合情報システム」で公表しています。
2. 防災訓練として、水防訓練の他に避難訓練は行われているのか。  
⇒【事務局】 敦賀市において総合防災訓練を行っており、その中で避難訓練も実施されています。
3. 今後は、水害が起こるという前提に立って、ソフト対策を含めた総合的な対策を進め、市民に注意を促してほしい。

#### ◇ 環境関係について

1. サクラマスはサケよりも上流まで遡上するため、上流域までの配慮が必要である。正常流量で検討した地点より上流部で、秋の産卵期において移動に必要な水深（30cm）が確保されているか確認してほしい。  
⇒【事務局】 中流域までは、正常流量の検討において、代表地点で必要な水深が確保されることを確認しています。
2. 自然環境については、現状の維持だけではなく、ヒアリング等により昔の状況も把握し、復元という視点も含めたものにしてほしい。
3. 笙の川の流況は、あまり変化がないのか、少なくなっているのか。もし、少なくなっているのであれば、何らかの対策が必要ではないか。  
⇒【事務局】 大きく変わっていません。

#### ◇ 整備計画関係について

1. 今回の資料に河川整備のイメージ図があるが、実際に施工する具体的な断面の検討はしないのか。  
⇒【事務局】 河川整備計画の考え方にに基づき、環境情報図等を参考に、事業実施前の詳細設計で個別に検討していくことになります。
2. 河川整備計画には、「モニタリングを含む順応的管理」と「市民との連携」について記載してほしい。
3. 今回の河川整備計画に対する費用対効果（B/C）はどれくらいか。  
⇒【事務局】 B/Cは十分あると考えている。